

氏名	
----	--

点数	点/100点
----	--------

各論演習 28-1

問1)

文房具メーカー株式会社ケンロクでは、高級ボールペンSの製造・販売を行っている。次の資料にもとづいて、下記の設問に答えなさい。

(資料)

1. 製品Sの原価標準			
直接材料費	84円/kg × 5kg =		420 円
直接労務費	900円/DLH × 0.4DLH =		360 円
製造間接費	1200円/MH × 0.8MH =		960 円
			<u>1,740 円</u>

(注) 製造間接費のうち、固定製造間接費は7,980,000円である。基準操業度は期待実際操業度11,400MHであり、実際の生産能力は15,000MHである。

- 現在の製品Sの製造販売量は14,000個で、販売単価は2,200円である。また、変動販売費として製品1個あたり100円、固定販売費として1,400,000円発生する。なお、変動販売費は、販売員手数料と物品運送費からなり、それぞれ製品1個あたり80円と20円である。
- いま、稜星大学より卒業生へのプレゼントとして、新たに製品S2,000個を1個あたり1,600円で購入したいという引合いがあった。なお、稜星大学はこの条件でなければキャンセルするという。また、この注文を受けることによる直接作業時間の増加分については、1時間当たり30%増しの時間外手当を支払うことになる。ただし、新規注文に対する販売員手数料は発生しない。

【設問1】 上記の資料にもとづいて、この注文を引き受けるべきか否かを答えなさい。

【設問2】 新規注文を引き受ける場合、現在の販売量14,000個の販売単価2,200円から100円だけ引き下げなければならない。この条件を加味したうえで、新規注文を引き受けるべきか否かを答えなさい。

【設問3】 新規注文を引き受ける場合、現在の販売量14,000個の販売単価2,200円を引き下げなければならない。新規注文の引受けを有利とするには、14,000個の販売単価をいくらまでなら引き下げられるか答えなさい。

解1)

(注) () 内の正しい文字を○で囲み、『 』内には金額を記入しなさい。

【設問1】 新規注文を引き受けた場合、利益が 『 』 円
(増加 ・ 減少) するので、受注すべきで
(ある ・ ない)

【設問2】 新規注文を引き受けた場合、利益が 『 』 円
(増加 ・ 減少) するので、受注すべきで
(ある ・ ない)

【設問3】 14,000個の販売単価を引き下げた場合、
『 』 円/個までならば、新規注文の引受けは当社にとって有利である。